

高校における学力保障と 学習指導要領の改訂

教育センター(学力・教育課程研究会)として、08年度は小中学校の改訂学習指導要領を中心に3回の連続学習会を開催しました。今回は大幅に遅れて発表(08/12/22)された「高校学習指導要領の改定案」を軸にした学習会を開催します。どなたでも自由に参加できます。(無料)

【学習会の趣旨】

今回の改訂では小中と同様に学習内容の増加と全教科での道德教育の強化や「言語活動の充実」を打ち出し、これまでの「ゆとり教育」の転換を図りました。そして、総則で強調している「義務教育段階の学習内容の定着」では、すべての高校生への確かな学力を保障する観点での教育課程の編成を各高校で検討することが求められます。講演とともに中学校や高校での実践報告を聴くだけでなく、教育課程検討の一助になればと願って企画しました。

5月31日(日) 13:00~17:00

教育文化センター 202号

〈講演〉

「高校の学習指導要領改訂と学力保障」

鋒山泰弘氏(追手門学院大学)

〈実践報告〉

- ① 「中学校での基礎学力保障」
西原弘明氏 (洛北中学校)
- ② 「定時制の教育と学力保障」
谷口藤雄氏 (福知山高校三和分校)
- ③ 「義務教育までの基礎学力保障の取り組み」
平野健三氏 (朱雀高校)

高校学習指導要領の改定案

漢字・計算、小中レベル学習

学力低下に対応

高校講座で学び直し

特定の「道德」を推進

文部省 大学入試に活用

高校生に学力検定案

大蔵プリントで「教養」科目
高専 全県立高校で復習実施

※ 高校民主教育推進委員会の「教育課程学習会」(小野英喜氏講演)

[6/27(土)13:30 203号]とも結合してご参加下さい

京都教育センター学力・教育課程研究会(協賛:高校問題研究会)